（2面から続く）

ホスピタリティーを究め、国際舞台で活躍

☆[redacted]さん・足利高校→日本外国語専門学校

【抱負】将来、海外で就職し、特に、ホスピタリティー産業に貢献したいと考えています。

その第一歩として、アメリカのディズニーインターナショナルプログラムに合格し、実務経験を積むことを目標にしています。

この経験を通して、サービスの質を高めるスキルや異文化理解を深め、日本人だからこそできるおもてなしを追究し、世界中のお客様に感動を届ける人材を目指します。

また、在学中は語学力の向上に努め、海外研修にも積極的に参加して視野を広げたいと考えます。異文化の中で価値観を学び、国際的なコミュニケーション能力を磨き、将来は世界を舞台に活躍できる力を身につけます。

さらに英検準1級を取得した今、IELTSなどの資格試験に力を入れ、高度な語学運用力を身につけます。

足利から世界に挑戦してホスピタリティー業界で国際的に活躍したいです。

【推薦理由】[redacted]先生…明朗快活で前向きな人物である。

幼少期から英語に親しんでおり、海外で活躍する人物になりたいという明確な目標を持ち、3年間勤勉に学習した。

外国語の成績は本校において最高位に位置する。進学後も、高校在学中に取得した実用英語技能検定準1級以上の語学資格の取得や、海外留学に向けて努力する意欲に満ちている。

品行方正で、目標に向かってひたむきに努力でき、今後の活躍に大いに期待できる人物であるため、推薦する。

培った体力と精神力と探究心で、学業に邁進

☆[redacted]さん・白鷗大学足利高校→公立諏訪東京理科大学工学部機械電気工学科

【抱負】大学では勉学を中心にした学生生活を送りたいと考えます。

奨学生の皆さん

私は中学から高校まで6年間、部活動に最も力を注ぎました。

陸上競技部に所属し、主に1500m走で活躍、中学では全国大会に出場し、高校では関東大会に出場することができました。

授業前や放課後、休日の練習はもちろんのこと、帰宅後も自主練習や身体のケアを欠かさず続けました。高校3年の秋まで駅伝を走っていたため、十分な学習時間を確保することができず、もっと勉強に時間を使えればいいのに、と感じたこともありました。

しかし、引退後の限られた時間で必死に勉強し、公立大学に合格できたのは、部活動を通して身に付けた力のおかげだと思います。

陸上競技から得た継続力や忍耐力、探求心を活かして、大学では勉強により一層励みたいと考えています。

【推薦理由】[redacted]先生…本生徒は、陸上競技部の特待生として入学し、関東大会に出場するなど活躍した。

3学年11月に部活動を引退するまで文武両道に努め、学習面ではコース1位の成績を収めた。国公立大学合格の目標を持ち続け、見事にその目標を叶えるなど強い精神力と行動力を持っており、その姿は模範的であった。

情報を分かりやすく伝えるウェブデザイナーに

☆[redacted]さん・足利南高校→桐生大学短期大学部アート・デザイン学科

【抱負】幼い頃から絵を描くことが好きで、自分の絵を通して何かを伝えることに、喜びや達成感を感じていました。

足利南高校総合学科の幅広い分野の授業に触れる中で、デザインに強い興味を持ちました。デザインは想像力だけでなく、情報を分かりやすく伝えることが大切と知り、さらに深く学びたいと思うようになりました。

桐生大学短期大学部では、デザインを専門に、特に現代社会で重要性が増しているウェブについて学び、実践的な技術を身につけたいと考えます。インターネットが主流となる中で、より多くの人に伝わるデザインを作れるよう努力します。

将来は身に付けた技術を活かし、さまざまな場面で活躍できるよう、知識を深め、成長したいと思います。

【推薦理由】[redacted]先生…3年間を通して、意欲的に学習に取り組み、優秀な成績を収めた。責任感が強く、気配りもできるので、安心して仕事を任せることができる。

課題研究では、商品パッケージのデザインに注目、魅力を伝える工夫について考察した。

作品制作にも熱心で、行事のポスターにも選ばれるなど活躍が目立った。デザインに関わる仕事がしたいと考え、短大への進学を決めた。

貴会の奨学生としてふさわしい人物であると考えます。

感謝と初心を胸に刻み、地域の人を救う医師に

☆[redacted]さん・足利高校→獨協医科大学医学部

【抱負】医学部進学後、患者さんに寄り添い、信頼される医師になるために、日々勉学に励み、大学生活を通してコミュニケーション能力を育みます。

また、実習では患者さんへの接し方を学び、将来に生かします。

大学で地域医療を深く学び、地域に密着した医療を提供できる医師になりたいと思います。

そのためはどの講義もしっかりと聞き、真剣に授業に取り組みます。慣れない生活や膨大な勉強に追われる日も多いですが、憧れの医師になる夢を6年間追いかけ、研修医、専攻医になった後も、医学の学びを続けます。

今まで支えてくれた両親、高校でお世話になった先生方には、医学部に入学できた感謝の気持ちでいっぱいです。合格した時の気持ちを忘れず、辛い時はその気持ちを思い出し、困難を乗り越えます。

自分の目標に向かって一生懸命勉強し、これから多くの患者さんを救っていきたいです。

【推薦理由】[redacted]先生…3年間、常に高い向上心をもって学業に取り組み、優秀な学業成績を収めた。

また小中学生への学習支援のボランティア活動やオーストラリア海外研修に参加するなど様々な体験を積んだ。

獨協医科大学医学部医学科に栃木県枠で進学し、一生懸命勉学に励み、地域医療に貢献できる医師になりたいと考えている。

高い志と希望をもって学業に取り組むことが期待できる人物である。以上の理由から、当該生徒を推薦します。

外国人をサポートする空港グランドスタッフに

☆[redacted]さん・足利工業高校→共愛学園前橋国際大学国際社会学部国際社会学科

【抱負】共愛学園前橋国際大学では、英語を基本とした様々な言語を学び、地域社会に貢献したいです。

私の母は外国籍で、日常の中で言語や文化の壁を感じ、困ることが多々あります。そこで、私が様々な言語を学び、母と同じような境遇の人たちを助けて少しでも過ごしやすい場所を提供したいです。

私の夢は空港などで困っている外国人をサポートするグランドスタッフになることです。

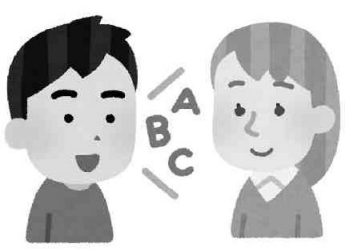
大学では英語を基本とした語学や文化を学び、TOEICなど資格取得に挑戦、留学してより実践的な力をつけたいです。

サークルやボランティア活動にも積極的に参加し、大学で学んだことを生かし、多くの経験を積んで夢の実現に向けて頑張ります。

【推薦理由】[redacted]先生…基本的生活習慣が確立しており、何事にも一生懸命努力し、責任を果たす模範的な生徒である。

また、学業にも意欲的に取り組み、優秀な成績を収め、多くの資格を取得した。

さらに、バレーボール部でも主力として活躍しチームをまとめ、誠実で前向きな学校生活を過ごした。



後輩に願うこと

安藤登美子

私の一日は二階の窓を開けることから始まります。さ～っと朝の爽やかな空気と陽の光が「おはよう！」とご挨拶をしてくれます。

その後、まもなく私の目に喜ばしい風景が入ってきます。それは窓から離れた向こうの道に見える小学生の姿です。ランドセルを背にした近隣の子供たち全員が揃うのを待って、9人で列になって登校します。思わず手を振って「今日も頑張ってね…」と応援する気持ちになります。

それからしばらく家事などをしながらこれまでの自分の人生のいろいろな場面が思い出されるのを楽しみます。そんな時、思うのは、「もう人生も終盤、楽しい、良い人生だった。残りの時間、少しでも有意義な生き方をしたい」ということです。

私は足利生まれ。幼稚園に上がる前からお琴を習わされ、西小、一中、足利高校（足女高）を経て大学へ進みました。英米文学科で言語学を学んだ私は、高校時代から、自然に「外国に行ってみたい。できたら、本場の英語の教え方を学んでみたい」と思うようになりました。

大学のクラブ活動は、ESS（English Speaking Society）に加え、自分で立ち上げた箏曲クラブに入りました。他校との交流や演奏会を行ったのが楽しい思い出です。

当時のもう一つの大切な記憶は、初めて行われた英語検定試験です。専門分野ですし、英会話も授業で勉強していましたので、幸い1級に合格しましたが、他分野専攻の人にとっては面接試験の準備は大変だろうと思いました。それで、英語の授業にもっとオーラルイングリッシュを取り入れたら良いだろうと考えたのも、アメリカの教育に興味を持った一因かもしれません。

そして、願えば叶うものです。大学卒業後まもなく結婚、渡米、結局8年間滞在することなりました。

顧みると、その間、人生の基盤、方向性が築かれたのでした。滞米中、配偶者は大学講師、准教授として働き、私は大学院の教育学部を卒業と同時に公立小学校の教師として4年生を担任、体操をはじめ、各学科や国語、つまり英語を教えることを通し、日本では経験できない多方面の学びを得ることが出来ました。

渡米する時、お琴を抱えて行ったお蔭で、フルート奏者やハープ奏者と「春の海」を合奏するチャンスが一度ならずあり、日本文化を広めるお役に立つことができたと思います。

帰国後、自分の学習塾で、実際に自分が考える方法で教えることもできました。また、ラジオ講座、大学でも教える機会や英検関係のお仕事もさせていただきました。想像した以上の広い英語の分野の仕事を与えられたのは、大きな喜びです。

そして、今、人生という道を振り返り、意義あるものにするためには何が大切なのか、考えてみました。

それは、若い時に、自分の人生に望むこと、何をしたいのか、人生をどうしたいのか、その時々に考えることが大切だということです。時間はかかるでしょう。でも漠然と毎日をすごすのではなく、これからの目標を考えて少しずつ努力すれば、道がはっきり見えてくるものです。

思えば、美しい渡良瀬川、織姫山、足利学校…等が先輩と共に私を育ててくれた心の糧でもあります。離れていようと故郷はいつも心の中心にあり、大きく羽ばたくための力を与えてくれます。

そして、いつか帰る時が訪れると、今度はあなたご自身が故郷のために自然と尽力できるのに気づきます。長い人生体験を通して得たものがたくさんあるからです。

誰の人生にもつらいことも悲しいことも起こるものです。でもそれらは心の糧となり、力を育み、他者への理解力や人生の深みや喜びを教えてくれます。

失敗を恐れず、未来の大きな広がりに向かって、あなたご自身の道を少しずつ歩まれますよう願っております。素晴らしい未来が開けてくるでしょう。

（あんどうとみこ・両毛育英奨学基金会理事。ヒプノセラピスト。元・群馬大学、白鷗大学講師。文化放送「百万人の英語」講師。小山市在住）